

令和 7 年 7 月 3 0 日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 村山 俊雄
記録員 半田 大介
班 員 滝口 茂之
班 員 水戸 芳美

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和 7 年 7 月 1 2 日（土）午前 1 0 時～	
2 会 場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ		
4 意見交換の内容 （議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等）	参加者の意見等	取扱
	市民の日常生活に密着した課題から市の将来像まで、多岐にわたるテーマについて意見交換が行われました。主な内容は以下の通りです。 <u>プレミアム付商品券について</u> 市民から「物価高騰対策として、なぜ手間のかかる商品券なのか。現金給付ではダメなのか」という率直な疑問が提起されました。 ○市民からの主な意見・質問 ・商品券の購入や利用に手間がかかり、特に高齢者には不便。 ・公共料金やゴミ袋の購入に使えないなど、使用範囲が限定的である。 ・発行にかかる事務コストや人件費はどの程度か。 ・物価高騰対策と地域経済活性化という複数の目的が分かりにくい。 ・各種キャッシュレス決済（PayPay など）との連携は検討できないか。	②

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
②執行部に伝えるもの
③執行部からの回答を要するもの

	○議員からの回答・説明 ・この事業は国の交付金を活用しており、地域経済の活性化（市内の消費喚起）が目的の一つとされているため、現金給付ではなく市内の加盟店で利用できる商品券形式となっている。 ・事務経費は全体の約3割程度を要している。 ・デジタル商品券（スマートフォン利用）という選択肢も考えられるが、高齢者などが利用できない「デジタルデバイド」の問題を考慮し、現状は紙の商品券が全市民に行き渡る最適な方法と判断している。 <u>インフラの老朽化と労働力不足について</u> 市民から、日々の生活に不可欠な上下水道管の老朽化に対する不安が示されました。 ○市民からの主な意見・質問 上下水道管の老朽化はどの程度進んでいるのか。将来的に問題はないか。 ○議員からの回答・説明 ・天童市では、管路の耐用年数に基づき計画的な更新事業を進めている。データ上、県内の他市町と比較しても老朽化率は低く、財政的にも健全な状態を維持している。 ・一方で、インフラ整備における最大の課題は、建設・土木業界の深刻な「人手不足」である。特に技術系の人材が不足しており、若者が集まりにくい現状がある。 <u>景観整備について</u> 市の魅力向上という観点から、景観整備に関する意見が交わされました。 ○市民からの主な意見・質問 ・図書館や美術館の周辺を、もっと緑豊かで一体感のある空間にしてほしい。 ・倉津川沿いのライトアップや歩道の舗装、電線地中化などを進め、人が集まる魅力的な場所にしてほしい。 ・天童市には、歴史や文化を感じさせる景観が少ないので	② ②
--	---	-------------------

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
 ②執行部に伝えるもの
 ③執行部からの回答を要するもの

	はないか。 ○議員からの回答・説明 ・現在、図書館と美術館を含むエリアを一体的に整備する計画がある。 ・電線地中化は景観向上の重要な要素だが、県道であるため県との協議が必要となる。今後も実現に向けて働きかけていきたい。 <u>その他の議論</u> 上記の議題に加え、以下のようなテーマについても意見が交わされました。 ・人口減少と地域の将来：若者が進学や就職で市外へ出た後、地元に戻ってこない現状について議論。働く場の確保が大きな課題であるとの認識で一致。 ・地域コミュニティの維持：空き家の増加や、家族観の変化など社会構造の変化が、地域のつながりや町内会活動にどう影響していくか、将来への懸念が共有された。	
--	--	--

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
 ②執行部に伝えるもの
 ③執行部からの回答を要するもの